

# 大麦管理情報 第1号

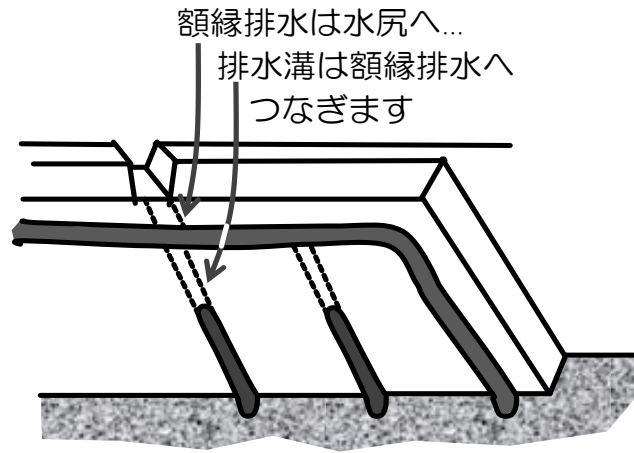
平成26年9月12日  
 いなば農業技術者協議会  
 ○事務局【JAいなば営農生産課】  
 小矢部市赤倉97 67-8000  
 【西部支店】67-8200 【東部支店】67-8300  
 【南部支店】61-8900 【福岡支店】64-8600

## 1. 排水対策の徹底

～苗立確保は、まず排水対策をしっかりと～

### 排水対策は9月中に行いましょう

1. 暗渠排水のふたを外しましょう。
2. サブソイラを用いて心土破碎を行いましょう。
3. 深さ30cm以上の額縁排水を設置しましょう。
4. 排水溝は3m間隔で設置しましょう。
5. 水口はしっかり止めましょう。



## 2. pHの矯正

・耕起前に石灰質資材を100～200kg/10a施用しましょう。

## 3. 種子消毒 ①、②いずれかの方法で消毒

①薬剤による消毒⇒「ベンレート水和剤20」を種子粉衣(種子重量の0.5%粉衣)

㊦ 種子10kgに水200ccを加え湿らせてから、薬剤50gを加え粉衣しましょう。

②循環式催芽器による消毒⇒45℃の温湯に2時間30分浸漬

浸漬時間厳守、45℃を超えないよう注意、消毒後は、よく水を切り乾かしましょう。

## 4. 基肥の施用

施肥・播種様式	肥料名	施肥量(kg/10a)
一発体系のドリル播き	LP大麦48号	40～45
分施体系のドリル播き	BB特15号	32
分施体系の散播	BB特15号	40

## 5. 播種時期と播種量 播種は10月15日頃までに終わらしましょう。

① ほ場が十分に乾いた状態で、

耕起から播種までの一連の作業を1日で行うようにしましょう。

② 時期に応じた播種量を守り目標苗立数を確保しましょう。

播種時期	目標苗立数 (本/m <sup>2</sup> )	播種量(kg/10a)	
		ドリル播き	散播
9月25～30日	140	6	6.5
10月 1～10日	150	6.5	7
10月11～15日	200	8.5	9

※ドリル播きは、条間25cm、播種深度3cmを目安に播種しましょう。

播種量や基肥量が多すぎると、  
細麦や硝子粒が増加するので注意!

